

第4回刈羽村景気ウォッチャー調査 概況

1. 調査日 令和5年4月27日
2. 調査対象
対象事業所数 151事業所 (商工会法定会員)
回答事業所 101事業所 (回答率: 66.9%)
3. 調査対象時点 令和4年10月～令和5年3月期を対象とした。
4. 調査方法 刈羽村と共同で実施し、商工会で調査票を対象事業所に郵送し、令和5年5月17日までにFAX等により回答いただいた。調査集計は刈羽村産業政策課で行った。

5. 概要

調査期間内において、総じて、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着きを見せ、政府より感染症分類を5類に変更するとの方針が示されたことにより、業種を問わず影響の改善傾向が強まりました。更に、今後の見通しについても、その影響を懸念する回答は少なくなっており、今後の経営に対する感染症の影響は薄らいでいくと考えられます。一方、経営課題、悩み事の調査項目では、引き続き「原材料、資材の高騰」と回答する事業者が最も多くなっていますが、回答数は前回よりも減少し、人手不足についての回答が増加傾向となりました。この傾向は建設業関連で強まっており、景気回復で担い手不足が顕在化しているものと推測します。

(1) 売上高

直近6ヶ月の合計売上高については、回答事業所の約50.0%が前年同期に比べて「増加した」と回答しており、前回調査と同数となりました。一方、今後6ヶ月の売上見通しについては約50.0%が増加すると回答しており、前回調査(約43.0%)よりも7ポイント改善しています。この傾向は、業種を問わず広がっています。

(2) 営業利益

営業利益は、直近6ヶ月と前年同期との比較については回答事業所の約

22.0%が「増加した」と回答しており、前回調査（約 15.0%）に比べて増えています。一方で、「減少した」と回答した事業所は約 36.3%と依然として増加回答を上回っているため、改善傾向が見受けられるものの他の項目に比べ、回復感は弱いです。

（3）設備投資

設備投資については、実施した事業者が約 37.0%と前回調査（約 29.2）に比べて大幅に増加しており、営業利益の改善傾向を反映していると考えられます。また、1,000万円以上の高額投資が2倍以上に増えています。一方、今後の見通しでは約 40%が設備投資を予定しており、積極的な状況が続く見込みです。

（4）経営課題、悩み事

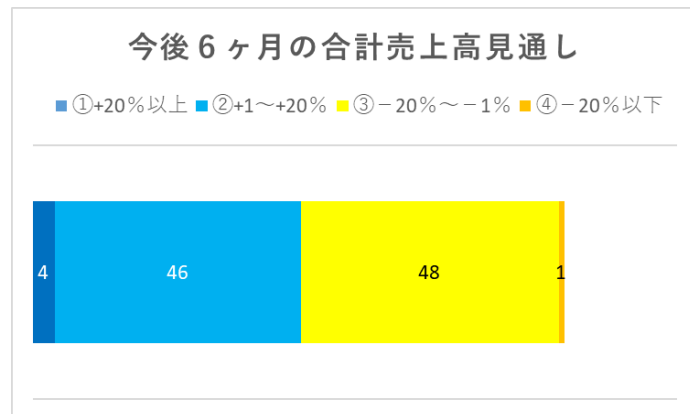
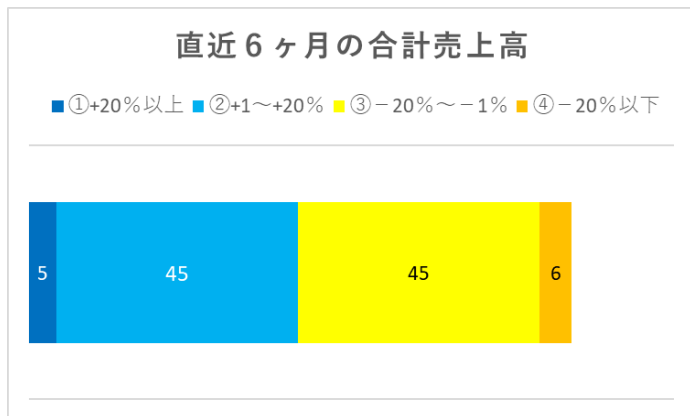
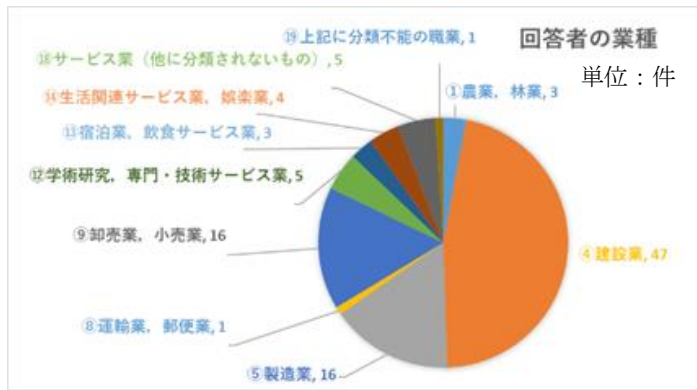
前回調査と同様の傾向で、経営上課題・悩み事の上位 3 項目には「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材、光熱費の高騰」「人手不足」が多く示されています。今期においては、「原材料、資材、光熱費の高騰」については約 20.1%と前回調査（約 21.3%）に比べて回答数が減少しましたが、「人手不足」の回答数が急増しています（今回約 22.2%、前回 18.2%）。

一方、「原材料、資材、光熱費の高騰」と回答した事業所の内、どの位の上昇感が見受けられるかお聞きしたところ、原材料、光熱費共に高騰率は「+100%～+200%」が全体の約 90%以上を占めています。中には「+150%～+200%」との回答が 2 割程度あり、業種を問わず今後注視が必要と考えます。

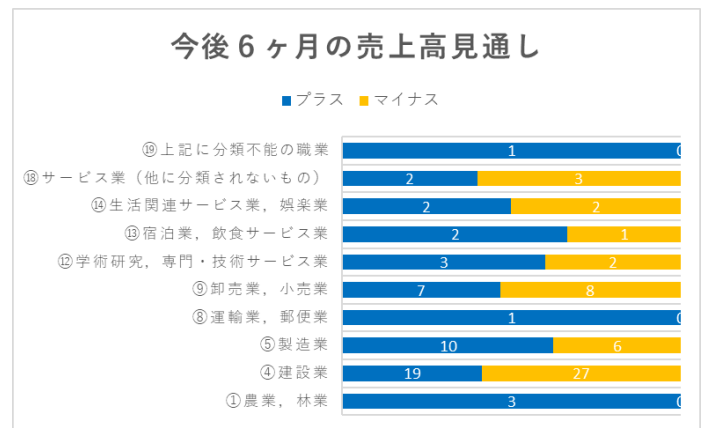
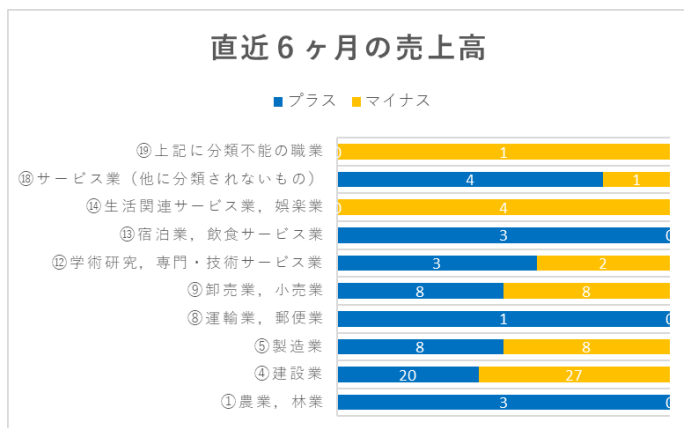
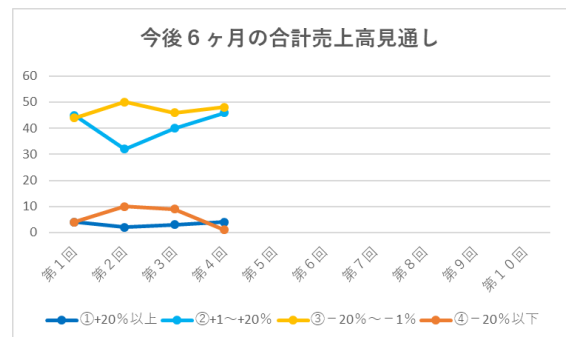
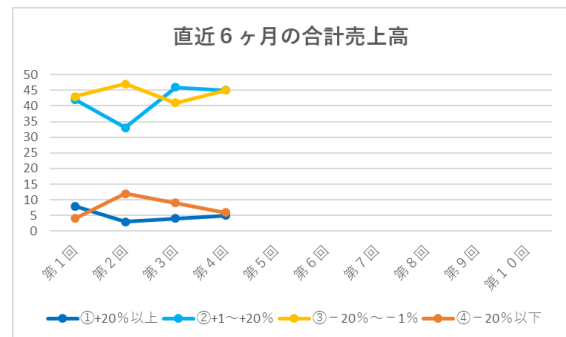
（5）新型コロナウイルス感染症の影響、その他

直近 6 ヶ月と前年同期との比較については、「影響を受けている」「どちらかと言えば影響を受けている」と回答している事業者が約 38.0%と前回調査（約 61.0%）に比べて大幅に減少しています。また、今後の見通しについても、全業種を通じて同様の傾向が大幅に強まっており、感染症 5 類に移行したことで新型コロナウイルス感染症の影響は、大幅に改善傾向が続くと考えられます。

6月7日時点の回答率 66.9% (101件/151件) ※グラフの単位は全て件。



売上高は直近でやや改善、見通しではプラスが上回る。前回より更に改善傾向。見通しはすべての業種でプラスが見られる。改善傾向は業種を問わず広がる。



直近6カ月の営業利益

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない
■④減少する ■⑤かなり減少する



今後6カ月の営業利益見通し

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない
■④減少する ■⑤かなり減少する



営業利益は直近で前回より「減少する」が大幅に減少。改善傾向が見られる。

見通しでも「減少する」が大幅に減少。幅広い業種に明るい見通し。

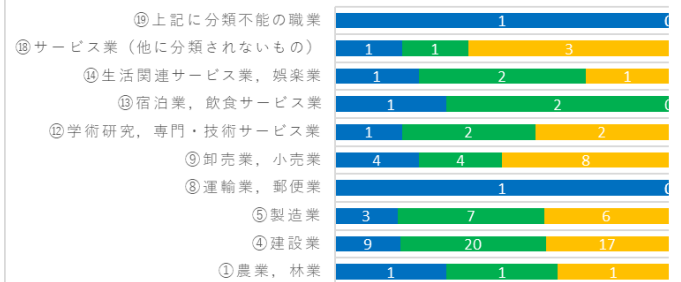
直近6ヶ月の営業利益

■プラス ■変化なし ■マイナス

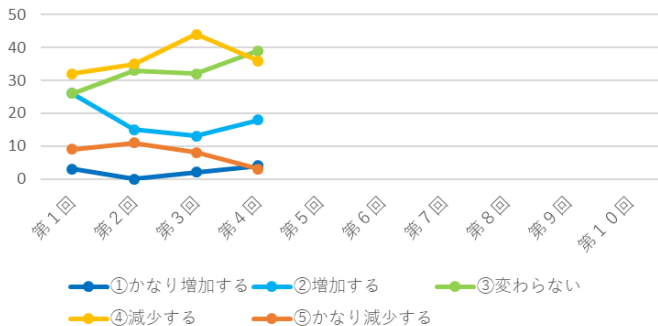


今後6ヶ月の営業利益見通し

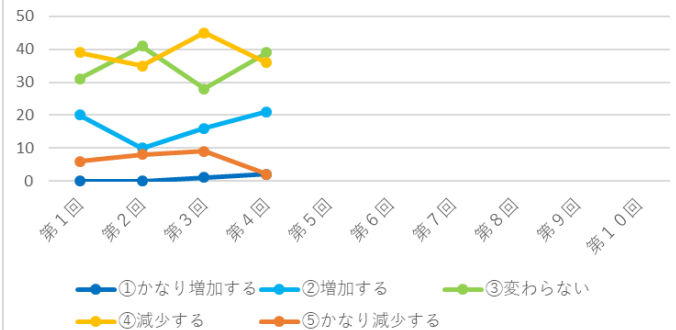
■プラス ■変化なし ■マイナス



直近6ヶ月の営業利益



今後6ヶ月の営業利益見通し



直近6カ月の設備投資

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上



1,000万円以上の設備投資が2倍以上に増加。実施無は減少した。営業利益の改善及び明るい見通しが影響か。卸売・小売、製造、建設で伸びが見られる。とりわけ建設は大きい。

今後6カ月の設備投資見通し

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上



直近6ヶ月の設備投資

- あり
- なし

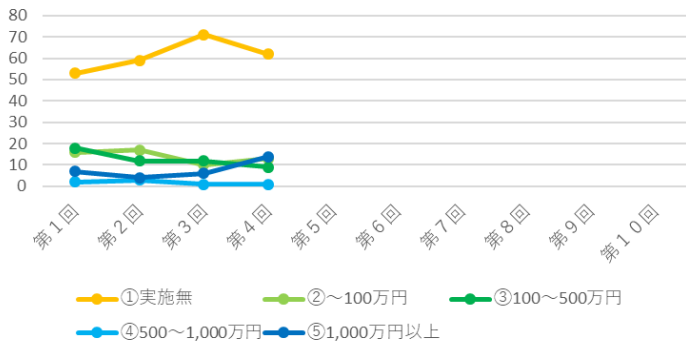


今後6ヶ月の設備投資見通し

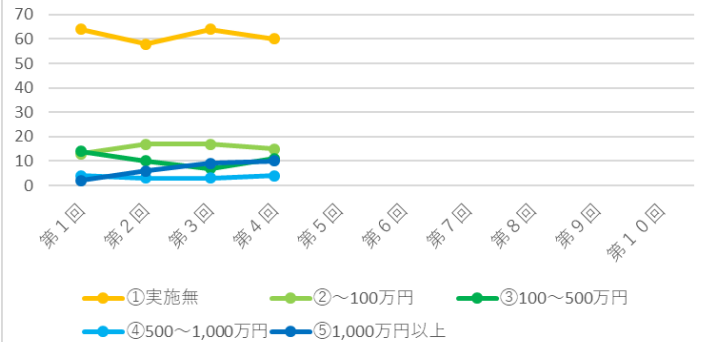
- あり
- なし



直近6ヶ月の設備投資



今後6ヶ月の設備投資見通し



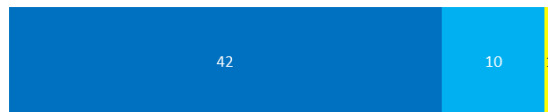
原材料（資材）の高騰率

■ ① +100%～+150% ■ ② +150%～+200% ■ ③ +200%以上



光熱費の高騰率

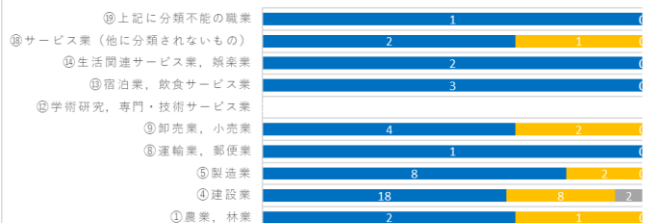
■ ① +100%～+150% ■ ② +150%～+200% ■ ③ +200%以上



前回同様に原材料（資材）、光熱費共に高騰率は+100%～+150%が最多。
急激な高騰は見られないものの、今後の動向に注意が必要。
原材料（資材）、光熱費共に業種を問わず影響が広がる。

原材料（資材）の高騰率

■ +100%～+150% ■ +150%～+200% ■ +200%以上

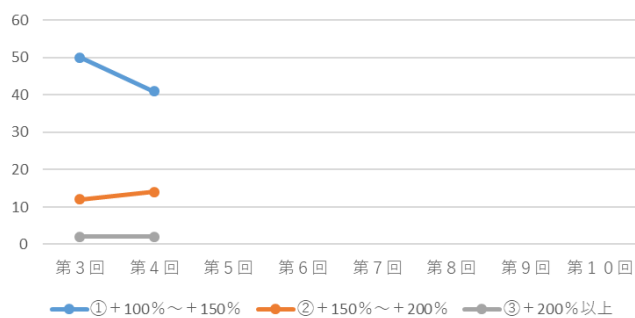


光熱費の高騰率

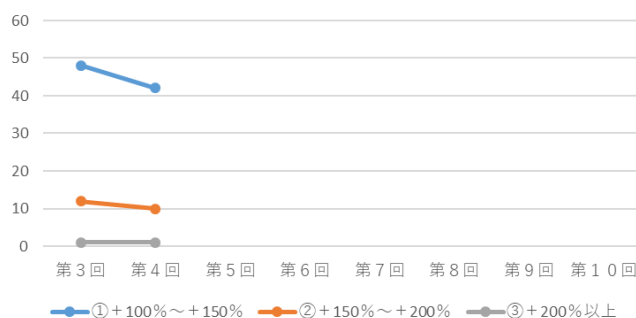
■ +100%～+150% ■ +150%～+200% ■ +200%以上



原材料（資材）の高騰率

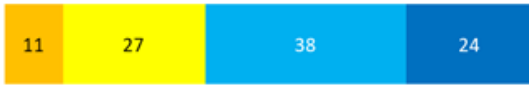


光熱費の高騰率



現在の新型コロナの影響

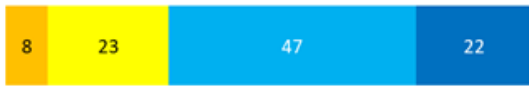
- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない



「影響を受けている」「どちらかといえば影響を受けている」が大幅に減少し、「影響を受けていない」「どちらかといえば影響を受けていない」が大幅に増加した。
業種を問わずコロナの影響は後退。

今後の新型コロナの影響見通し

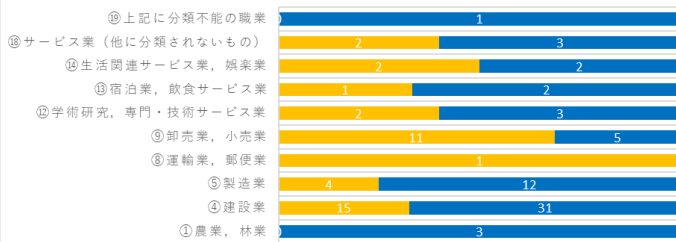
- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない



見通しは現在よりも更に明るい。
建設、製造でコロナの影響が大幅に後退。
卸売・小売においても後退。
幅広い業種で明るい見通し。
5類への移行により、状況は着実に改善している。

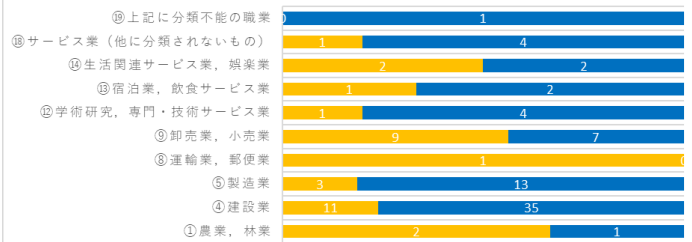
現在の新型コロナの影響

■ あり ■ なし

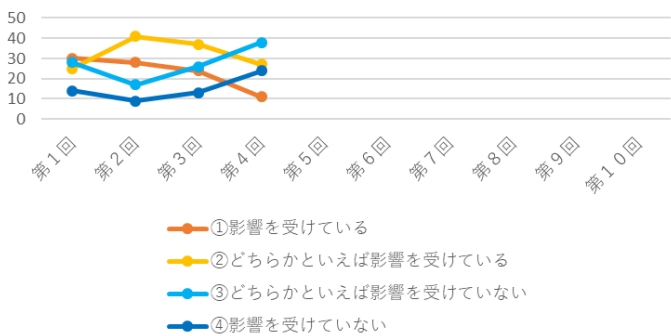


今後の新型コロナの影響

■ あり ■ なし



現在のコロナの影響



今後のコロナの影響見通し

